東福保育園　　２歳児

年間テーマ	四季を通じて身近な自然に触れ、様々な遊びにつなげていく
探求テーマ	どんぐり公園の葉っぱやどんぐりを触ったり見立てて遊ぶ。

2024年　　１２月　　６日(金)

子どもの姿	・普段から遊んでいるどんぐり公園で葉っぱやどんぐりなどを見つけ、触ったりにおいをかいだりする。 ・子ども同士で自然物を使って見立て遊びを楽しむ。
「問い」を考える	・たくさん落ちている葉っぱやどんぐりを見てどんな遊びに発展するか。
活動をデザインする	・公園内を探索。好きな葉や木の実を探す。 ・葉が風に乗って飛んでいく様子を見たり追いかけたりする。 ・友だちと一緒に自然物で見立て遊びを楽しむ。
環境をデザインする	．袋を用意する。 ・自由に遊べる環境を確保し、事故やけがにつながらないよう見守る。
小グループを構成する	・二人や三人の小グループを大事にしながら、声や行動を逃さずキャッチしていく。
振り返り	子どもたちの中で様々な発見があった。その小さな発見を担任の問いかけも交えながら、参加した子どもたちと遊びに発展していった。子どもたちの自由な発想を大事にしながら、過ごすことができたと感じる。今後はもっと寒くなったどんぐり公園で何を発見し、何の遊びにするか。何に興味を持つかを探求していきたい。また書画カメラで子どもたちの発見した自然物ももっと詳しくみて、子どもの「おもしろい」「知りたい」につなげていきたい。

子どもの言葉・姿	写真
どんぐり公園に散歩に出かけた ○風に葉っぱが吹かれて飛んでいく様子を見つけ R「きれ～。葉っぱの雨みたい」 ○葉っぱをめくりながら J「だんごむしがいるんじゃない？」 T「いないよ。葉っぱがいっぱいだから見えないんじゃない？」 ○突然立ち上がり葉っぱを降らせながら J「はっぱひこうきー」 A「はっぱの雨がふいてきたー(降ってきた)どんぐりでおいはらおう」 担任「どんぐり踏むとどんな音？」 K「ふんでみるねー」(沈んで踏むことができない) 「あれ？なんかぼりぼりっていった！」 担任「Mちゃん、はっぱついてるよ！」 M　(どこについてるかわからず一生懸命探す) ○葉っぱを数名で集めながら A「どんぐりいれよー」 担任「いれるとどうなる？」 J「色が変わるんじゃない？」 A「もっといれよー」 J「入れたら増えるかな。にじいろになる。模様が増える。」 J「ほら！模様がふえた！」(どんぐりを持ちながら言う) ○どんぐりから芽が出ているのを見つけ R「あ、これごぼうじゃない？」(すぐに捨て走り去る。)	